

児童虐待介入基礎演習

疫学、長期的影響、発生要因、予防、心理介入とペアレンティング

このコースは児童虐待事例を扱う看護職者、医療従事者を対象として、児童虐待の疫学、長期の心理的影響を振り返り、どのようなメカニズムで児童虐待が起きるのかを学びます。よくある「産後うつ病が児童虐待の原因である」や「産後うつ病の早期発見・早期介入が児童虐待予防につながる」という単純な議論の問題点に触れます。午後は、児童虐待事例を発見した際の（法律の運用以外の）心理援助手法の基礎を、演習を中心に学んでいきます。最後に、ペアレンティング教育を用いて、虐待の可能性を低減させる可能性についても学習します。

会場：北村メンタルヘルス研究所 東京都港区赤坂 8-5-13
ホームマットパロネス 101
（地下鉄銀座線・半蔵門線・大江戸線 青山一丁目駅
B4出口から徒歩8分）

日程：2014年 7 月 6 日（日曜日）9:30-16:30

参加費：30,000円（当日教材費込み）

講師：北村 俊則（北村メンタルヘルス研究所 所長 熊本大学大学院元教授
ワシントン大学《セトルス》客員教授）

登録：メールにてご連絡ください（電話でのご登録はできません）。仮登録の後、参加費の事前入金を確認しての正式のご登録になります。

キャンセルポリシー：開催日の10日前までのキャンセルは無料。以降前日までのキャンセルは参加費の50%をキャンセル料として申し受けます。コース開催後のキャンセルについては全額を頂戴いたします。

受講対象者

市町村保健師
助産師・産科医・小児科医
精神科看護師
精神保健福祉士
臨床心理士

少人数の
セミナー・
演習形式



主催：北村メンタルヘルス研究所

107-0052 東京都港区赤坂8-5-13-101 電話 03-6804-5662

2014年7月

E-mail info@institute-of-mental-health.jp URL <http://institute-of-mental-health.jp>